



特定非営利活動法人ミレニアム・プロミス・ジャパン（認定NPO法人）

来る9月4日、アフリカ南東部内陸部の最貧国マラウイ共和国にて、 洪水被災者への食糧支援・贈呈式を実施

— ジャパン・プラットフォーム（JPF）助成事業 —



特定非営利活動法人ミレニアム・プロミス・ジャパン（略称 MPJ、会長・北岡伸一、理事長・鈴木りえこ）は、サハラ砂漠以南アフリカ南東部内陸部にある最貧国の一つマラウイ共和国（一人当たりのGNI:250米ドル:2014年、世銀）にて、本年1月に起きた大洪水の被害から半年以上を経た現在も回復の見込みが困難な被災地への食糧支援を行います。なお、この活動は特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（JPF、共同代表理事・有馬利男氏）の助成を受けて実施されます。（※食糧支援の内容については、次ページをご参照ください。）

同国では、昨年12月ごろに始まった雨季の期間中、異常な豪雨とそれにより引き起こされた洪水がマラウイ湖岸とシレ川流域を主として、主食のメイズ（白トウモロコシ）の作付を終えたばかりの農地を直撃し、全28県中15県において浸水、家屋倒壊等、未曾有の大被害が広がり、1月13日にはピーター・ムタリカ大統領より1964年の国家建設以来初の災害宣言（State of Disaster）が発せられました。大洪水直後にはマラウイ災害対策局（Department of Disaster Management Affairs; DoDMA）は国連に支援を要請し、マラウイ国防省と共にボートによる被災者救助にあたりました。さらに同国では、ここ数年のエルニーニョ現象の影響で深刻な干ばつが続いているため、国連世界食糧計画（WFP）マラウイ事務所は、現在2001年の食糧危機再来を想定しています。気候変動が最も脆弱なひとびとに重大な影響を及ぼしている事例といえましょう。

（JPFウェブサイト <http://www.japanplatform.org/programs/malawi-flood2015/> 参照）

日本政府はすでに、国際協力機構（JICA）を通じ、1,900万円相当の緊急援助物資（テント、毛布等）を供与し、またインフラ等の復旧・整備においても多額の支援を行っています。加えて、微力ながら、日本のNGOが民間・市民の立場から出動することによって、防災先進国たる日本がオール・ジャパンとして顔の見える国際協力を行う一助となり、また日本とアフリカ間の重層的な友好関係の強化にも寄与できることを願っております。

このたび、MPJ は下記要領にて食糧支援およびその贈呈式を実施いたしますので、ここにご案内申し上げます。

■ マラウイ洪水被災者への食糧支援 配布および贈呈式スケジュール

日時	2015年9月4日（金）午前9時（現地時間、日本との時差-7時間）より （日本では8月30日～9月5日の間、「防災週間」となっています。）
場所	マラウイ共和国 ゾンバ県 クントウマンジ地区 チランガ小学校 （Chilanga Primary School, T/A Kuntumanji, Zomba District, Republic of Malawi） *首都リロングウェから南へ車で6時間、旧都ゾンバから北へ車で40分
内容	<p>1. 贈呈式 以下の方々にご来臨いただき、現地メディアを誘致して式典を開催いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐マラウイ日本国大使 西岡周一郎 閣下 ・マラウイー村一品事務局 JICA 派遣専門家 岡田鉄太チーフアドバイザー（*植物油供給を支援） ・ゾンバ県選出国會議員、ゾンバ県知事、マラウイ災害対策局 ・ミレニアム・ビレッジ・プロジェクト ムワンダマチームリーダー（*メイズ、豆を供給） Dr. Andrew Daudi（元農業・食料安全保障省事務次官）など <p>2. チランガ小学校への御礼の品贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇后陛下がご英訳された御本「にじ」「けしごむ」「どうぶつたち」 ・ボールペン約1,000本（特別協賛：Pilot Pen South Africa (Pty) Ltd.）を贈呈。 <p>3. 食糧配布（終日）</p>

※食糧支援の内容

大洪水から半年以上を経た現時点においても、対象被災世帯(ゾンバ県)の3割弱は食糧不足から回復せず、そのうちとくに深刻な食糧難に陥っている地区であるクントウマンジ地区の1,370世帯に対し食糧配布を行う。被災の集中している4県(ンサンジェ県、チクワワ県、ゾンバ県、パロンベ県)のうち、ンサンジェ県とチクワワ県には従来から多くの国際支援団体が入っているが、ゾンバ県ではまだ支援活動が十分ではなく、とくにこのクントウマンジ地区では支援が不足していた。MPJはゾンバ県にあるミレニアム・ビレッジ・プロジェクト(MVP)[注1]ムワンダマチーム(2006年に日本の支援によって開始された)と協力して、クントウマンジ地区の支援に当たる。

今回はWFPスタンダードに基づく食糧パッケージに準じ、1世帯1か月分に当たるメイズ50kg、豆10kg、植物油1.5L、スーパーシリアル6kgを配布する。WFPによる洪水被災者への緊急食糧支援は去る6月分まで継続され、また例年備蓄食糧が底を尽きる10月ごろより再開される予定である。従って、MPJによる今回の支援はこの間をつなぐショート・リリーフとなり、最も脆弱なひとびとにとって重要な支援となる。このことは、マラウイ災害対策局にも認識されている。

これら支援食糧のうち、メイズおよび豆はMVPムワンダマより、植物油はマラウイー村一品(OVOP)事務局[注2]より供給される。

[注1] ミレニアム・ビレッジ・プロジェクト(MVP)

国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成が可能であることを世界へ示すために、2005年に国連事務総長特別顧問(MDGs担当)ジェフリー・サックス氏(コロンビア大学地球研究所長)らが開始した。最貧国であるアフリカのサハラ砂漠以南にある10か国80村を「ミレニアム・ビレッジ」と設定し、農業、教育、保健衛生、インフラ、起業などを含む包括的支援モデルプロジェクトとして、2015年末までに村人の自立を支援する。マラウイのMVPムワンダマは2006年に日本政府の支援によって開始された。

[注2] マラウイー村一品(OVOP; One Village One Product)事務局

2003年、大分県の一村一品運動に共感した当時のバキリ・ムルジ マラウイ大統領が、国家プロジェクトとして同国産業貿易省内に一村一品事務局を設置し、独立行政法人国際協力機構(JICA)による支援を得ながら着々と成長を遂げてきた。日本の支援がビジネスのスキームを活用しながら途上国の生活水準向上に裨益している好例である。

全28県に一村一品担当地方行政官を配置し、一村一品のコンセプトを全国に発信。地域産業の発展を目指し、やる気のある協同組合や生産者グループを一村一品グループとして選び、政府の支援とともに事業を展開していった。現在、マラウイの生産者グループは100を超え、一村一品運動に携わる人は2万8000人以上に達している。毎年行われるマラウイ国際見本市には、地域の特産品である一村一品商品がずらりと並ぶ。NPO法人大分一村一品国際交流推進協会は、毎年開催される一村一品国際セミナーで、特に優良な団体に「平松賞」を授与しているが、2008年は「クンボ・オイル協同組合」、2012年は「カムウエンド・クッキングオイル協同組合」と、マラウイの食用油の生産者グループが受賞しており、マラウイの国を挙げての継続的な努力が高く評価されている。

(参考:http://www.jica.go.jp/topics/news/2013/20130502_01.html)

ミレニアム・プロミス・ジャパン(MPJ)

2008年4月設立。理事長:鈴木りえこ。米国のNPO法人ミレニアム・プロミス(所在地:米国ニューヨーク州 共同創設者:ジェフリー・サックス教授 米国コロンビア大学地球研究所長、ほか)のグローバル・アライアンスとして、ミレニアム・ビレッジ・プロジェクト(サハラ砂漠以南の10カ国約80村)を通じて、国連ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)の達成を目指す。認定NPO法人。

アフリカにおいては、教育・農業・ジェンダーなどの分野でミレニアム・ビレッジ住民の自立支援を実施。日本国内においては、貧困問題やアフリカ支援に関する啓発活動・グローバル人材の育成に努める。国内外の自然災害被災地支援も行う。

ミレニアム・プロミス・ジャパン ウェブサイト

<http://millenniumpromise.jp/>

以上

本件の問い合わせ先:

特定非営利活動法人ミレニアム・プロミス・ジャパン (認定 NPO 法人)

■事務局 (東京)

担当: 登 (のぼる) 景子

Tel. +81-(0)3-5842-2801 Fax. +81-(0)3-5842-2802

Email: mpjapan@drive.ocn.ne.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-1-11 南山堂ビル 3 階

ウェブサイト <http://millenniumpromise.jp/>

■現地担当 (マラウイ)

担当: 伊藤 正芳

携帯電話. +265-(0)992-541-341 (マラウイ国内)

Email: ito_masayoshi@msn.com

(9月26日まで、首都リロングウェおよび被災地ゾンバにて活動の予定)